



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月30日

上場会社名 株式会社M&A総研ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9552 URL https://masouken.com/holdings
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 佐上 峻作
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 荻野 光 (TEL) 03-6665-7590
 四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	8,526	120.1	4,938	115.9	4,937	116.1	3,173	102.5
2023年9月期第2四半期	3,874	—	2,287	—	2,284	—	1,567	—

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 3,173百万円(102.5%) 2023年9月期第2四半期 1,567百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	54.26	49.49
2023年9月期第2四半期	27.22	24.47

(注) 1. 2023年9月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については、記載していません。

2. 当社は、2023年7月13日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	11,977	8,838	73.8
2023年9月期	8,327	5,599	67.2

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 8,837百万円 2023年9月期 5,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,300	77.0	7,200	57.2	7,196	60.5	4,677	76.7	79.93

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年3月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年9月期2Q	58,566,000株	2023年9月期	57,983,115株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年9月期2Q	331株	2023年9月期	264株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年9月期2Q	58,485,809株	2023年9月期2Q	57,560,495株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 当社は、2023年7月13日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による規制が緩和され、社会経済活動も緩やかに持ち直しが見られた一方で、各種物価の上昇によるコスト高や為替相場の変動が続いており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業ドメインである日本国内の中小企業によるM&A市場は、経営者の高齢化及び後継者不在企業の増加という実態と、M&Aによる事業承継を推進する行政の政策により拡大を続けております。当社グループは1社でも多くの企業の事業承継を支援すべく、AIマッチングアルゴリズムの精度向上、業務のDX推進という2軸で効率的なM&Aの実現に取り組んでおります。事業の成長ドライバーであるM&Aアドバイザーの採用も順調に進んでおります。

その他、新規事業の立ち上げを見据え、今後の柔軟な事業展開を可能にすべく前連結会計年度にホールディングス体制へ移行し、当第2四半期連結累計期間においては子会社を3社新規設立しております。そのうち1社はコンサルティング事業の新規立ち上げを目的としており、M&A仲介事業以外にも業容を拡大させております。

このような事業環境下において、当社グループにおいては着実にM&A仲介案件を進捗させ、成約件数123件と堅調に推移しました。

また、今後の業績拡大を図るため引き続き積極的な採用を進めており、当第2四半期連結累計期間においてM&Aアドバイザーを61名増員しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,526,493千円（前年同期比120.1%増）、営業利益は4,938,193千円（前年同期比115.9%増）、経常利益は4,937,515千円（前年同期比116.1%増）、四半期純利益は3,173,301千円（前年同期比102.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して3,649,782千円増加し、11,977,244千円となりました。これは主に、現金及び預金が3,372,539千円増加したことによるものであります。

(負債の部)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して411,132千円増加し、3,138,961千円となりました。これは主に、未払法人税等が196,338千円、その他に含まれる預り金が179,660千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

純資産は前連結会計年度末と比較して3,238,650千円増加し、8,838,283千円となりました。これは主に、四半期純利益を3,173,301千円計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、10,802,967千円となり、前連結会計年度末と比べ3,372,539千円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3,445,208千円（前年同四半期は1,617,342千円の資金獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4,937,515千円を計上した一方で、法人税等の支払額が1,557,027千円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、116,114千円（前年同四半期は186,080千円の資金使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が92,116千円、敷金及び保証金の差入による支出が24,823千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、43,444千円（前年同四半期は17,067千円の資金使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が20,970千円あったものの、新株予約権の行使による株式の発行による収入が65,656千円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における2024年9月期の業績予想に変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,430,428	10,802,967
売掛金	143,188	275,119
その他	80,234	130,519
流動資産合計	7,653,851	11,208,606
固定資産		
有形固定資産	67,751	147,413
無形固定資産	7,859	11,006
投資その他の資産	597,999	610,218
固定資産合計	673,610	768,637
資産合計	8,327,462	11,977,244
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	45,435	41,940
未払法人税等	1,572,255	1,768,593
未払消費税等	447,124	427,225
その他	607,807	865,091
流動負債合計	2,672,622	3,102,850
固定負債		
長期借入金	48,415	27,445
リース債務	6,791	8,665
固定負債合計	55,206	36,110
負債合計	2,727,829	3,138,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	629,678	50,000
資本剰余金	629,668	1,275,002
利益剰余金	4,340,136	7,513,437
自己株式	△774	△1,081
株主資本合計	5,598,708	8,837,359
新株予約権	924	924
純資産合計	5,599,632	8,838,283
負債純資産合計	8,327,462	11,977,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	3,874,560	8,526,493
売上原価	757,906	1,969,641
売上総利益	3,116,654	6,556,851
販売費及び一般管理費	829,291	1,618,658
営業利益	2,287,362	4,938,193
営業外収益		
受取利息	20	41
雑収入	666	3,894
営業外収益合計	686	3,936
営業外費用		
支払利息	155	557
事務所移転費用	1,110	3,922
その他	1,921	134
営業外費用合計	3,186	4,614
経常利益	2,284,863	4,937,515
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	2,284,863	4,937,515
法人税等	717,805	1,764,214
四半期純利益	1,567,057	3,173,301
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,567,057	3,173,301

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	1,567,057	3,173,301
四半期包括利益	1,567,057	3,173,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,567,057	3,173,301
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,284,863	4,937,515
減価償却費	9,291	20,787
受取利息	△20	△41
支払利息	155	557
売上債権の増減額 (△は増加)	△132,053	△131,930
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△14,010	△19,898
その他	154,400	195,786
小計	2,302,625	5,002,775
利息の受取額	20	41
利息の支払額	△155	△581
法人税等の支払額	△685,147	△1,557,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,617,342	3,445,208
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△46,140	△92,116
資産除去債務の履行による支出	△5,900	-
敷金及び保証金の差入による支出	△201,520	△24,823
敷金及び保証金の返還による収入	69,402	960
その他	△1,921	△134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△186,080	△116,114
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△20,970	△20,970
自己株式の取得による支出	△118	△306
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,381	65,656
リース債務の返済による支出	△361	△934
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,067	43,444
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,414,194	3,372,539
現金及び現金同等物の期首残高	3,981,320	7,430,428
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,395,514	10,802,967

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、株式会社M&Aエグゼクティブパートナーズ及び株式会社M&Aファイナンシャル並びに株式会社クオンツ・コンサルティングを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年12月22日開催の第5回定時株主総会において、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として、資本金の額の減少を行うことを決議し、2024年1月31日付でその効力が発生いたしました。

発行済株式総数の変更は行わず、資本金の額を612,506千円減少させ、全額をその他資本剰余金に振り替える処理を行っております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が50,000千円、資本剰余金が1,275,002千円となっております。なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。